

## 平成29年度 大橋川改修事業に係る環境モニタリング協議会 議事録

日 時 : 平成 29 年 7 月 13 日 (木) 14:00~16:00  
場 所 : 松江市総合文化センター プラバホール 大会議室

### ■開会挨拶

開催にあたり、国土交通省出雲河川事務所長より挨拶。

### ■委員紹介

協議会委員の紹介。(委員紹介は、出席者名簿および席次表により各委員の紹介とした。)

### ■会長挨拶

- 先般の九州の災害や昨年の東北や北海道の河川災害など、毎年のように大規模災害が発生。決して我々が河川災害を克服できたと言える状況ではまだない。
- 大橋川においては生物や植物などへの工事の影響を出来るだけ少なく、しかも今までの環境を保全するよう模索しながら慎重に進められているところ。
- この協議会を通して将来に亘り順調に進むよう、良い知恵を出して頂きたい。

### ■協議会規約について

※説明資料：資料－1

事務局より、協議会規約の変更箇所について説明。  
(規約本文の変更箇所なし。学識委員の変更、学識委員の所属欄の変更を説明。)

### ■広域モニタリング・環境監視について

※説明資料：資料－2

事務局より、広域モニタリング・環境監視について説明。

#### 【道上 会長】

- まずはモニタリング計画の一部変更について、いかがか。

#### 【各委員】

- 異議なし。

#### 【道上 会長】

- ではモニタリング計画については変更する。

#### 【倉田 学識委員】

- 今後改修が進んだ際の宍道湖の塩分の変化について、塩分フラックスの変化を確認しておかないと改修の影響かどうか判断が困難と考えるが如何か。

#### 【事務局】

- ◆一次影響確認項目としては塩分と水位について評価しているところであり、塩分フラックスについてはこれまで参考項目としてデータの整理は行っているところ。ご指摘のとおり過去からの変遷について確認することは重要であるので、ご意見を参考に整理の仕方について今後検討する。

### 【梶川 学識委員】

- 今回から現状変化幅の観測年を追加しているが、今後もデータ蓄積をしていけば現状変化幅を変えていくつもりなのか。
- 現状変化幅を変えるのであれば、変動幅（例えば3年間ごと）がどのように変化しているのかを見ていくと分かり易いように思える。

### 【事務局】

- ◆現状変化幅については、工事の状況を見ながら変えた方が良いといった意見があればその都度考えるが、事務局としては頻繁に現状変化幅を変えるようなことは考えていない。
- ◆変動幅の変化については自然的要因のトレンドによるものなのか大橋川改修の影響によるものなのかを検討する上で非常に参考となるご意見を頂いた。今後の整理の参考とさせて頂きたいと考えるが、モニタリング計画書に基づく現状変化幅による確認については今後も継続していきたいと考える。

## ■工事モニタリングについて

※説明資料：資料－3

事務局より、工事モニタリングについて説明。

### 【國井 学識委員】

- 水生植物等の移植について、総じてうまくいっている。コアマモについてはベッセルによる移植でうまくいくこと、またシオグサの影響を考慮しなくて良いことが分かった。ヨシについては基盤高の設定により播種による再生がうまくいくことが分かった。コアマモ、ヨシ、オオクグとも順調に推移している。

### 【倉田 学識委員】

- オオクグについてはヨシ帯で波浪を抑制して侵食を防いでいるが、堆積方向になって基盤が高くなる心配はないか。地盤高の変化については確認しているのか（確認した方が良い）。

### 【事務局】

- ◆整備時の地盤高は確認しているがその後の変化は確認していない。今後検討していきたい。

### 【中村 学識委員】

- シジミや魚類について、工事する場所が決まったら、その場所の事前調査、工事中の影響調査、事後調査を行って欲しい。
- 工事の影響が出やすいと思われる剣先川でのモニタリング調査が少ないように感じている。
- 大橋川の影響を受けやすいと思われる例えば北浜の市役所前などで水質の自動観測を行うと影響を把握しやすいと考える。

### 【事務局】

- ◆工事実施にあたっては、事前に既往調査による河川環境情報図等による貴重種の確認はもちろん、シジミや魚類等については漁業関係者の方々と調整等を行う必要がある

と認識しているところ。また、その結果によっては、工事後でも調査等を要する内容もあると考えられるが、調査内容や方法等については委員の方々に相談させて頂きたい。

- ◆剣先川のモニタリング調査については、現時点では計画どおりで実施していく。
- ◆水質調査の地点追加については非常に困難であるが、ご意見を踏まえ何が出来るのか検討して参りたい。

#### **【事務局】**

- ◆今回の協議会で提示した資料については、協議会終了後、速やかに出雲河川事務所のウェブサイトで公開する。
- ◆次回の協議会については平成30年7月頃を目途に開催予定である。